

## 清掃活動を頑張っています

12月より、(12月の)生活目標の『みんなで学校を美しくしよう』を合言葉に、毎日、全校生が掃除を頑張っています。

12月は、美化担当の教師が、掃除開始2分前に校内放送で清掃場所への移動を呼びかけ、清掃活動の15分間(13時20分から清掃を開始)を精一杯活動できるように働きかけてきました。

1月からは、放送委員会の子どもたちが、自分たちで意識しながら気持ちよく掃除ができるようにと、さらに取り組みを進めてくれています。

《1月からの清掃活動》・・・子どもたちの活動内容を、音楽を変えて知らせています。

**13:18 (掃除開始2分前)**・・・放送委員が「掃除開始2分前です」と放送し、**音楽(♪粉雪のポルカ)**をかける。→全校生は、掃除場所に移動し、掃除を始める。

**13:20 (掃除開始のチャイム)**・・・**音楽(♪美しき青きドナウ)**が流れる→全校生は、集中して掃除を行う。

**13:30 (掃除終了5分前)**・・・**音楽(♪世界の約束)**が流れる→掃除の片付けを始める。

### 《子どもたちの様子》



掃除開始2分前です。  
皆さん、掃除場所に  
行きましょう。



昼休みに、外で元気に遊んでいた子どもたちも、放送委員会の呼びかけと「粉雪のポルカ」の音楽を聴いて、運動場から走って掃除場所に移動しています。一人一人の掃除を頑張る気持ちがよく伝わってきます。うれしいです。



### 「やらされる自分」から 「やる自分」へ

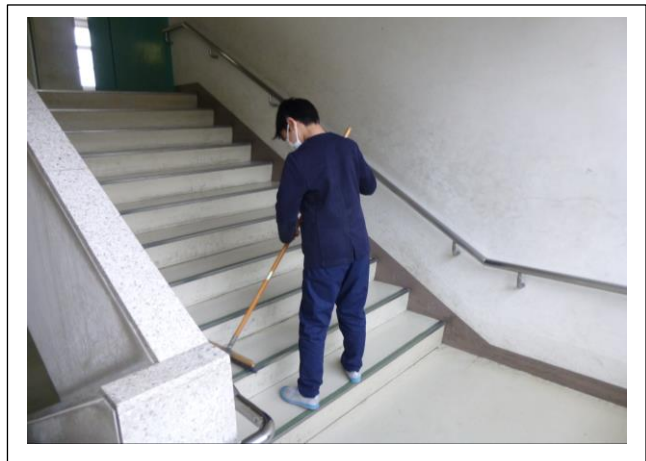
この度は、清掃活動を取り上げて、取り組みを紹介しました。清掃活動しかり、あいさつ運動しかりです。いろいろな活動を通して、**子どもたちの自主性を育てていきたいと考えています。**

子どもたちに関わりながら、子どもたちの自主性を伸ばすためには、大切なポイントがあるなあ実感しています。それは、教育活動においては、教師と子どもたちが**目標を共有する**ということです。親子関係に置き換えれば、親と子どもとで**目標を共有する**ということです。そして、目標が達成できた時、または目標達成に向けて努力をしている時に、**頑張っている子どもたちを認め励ますこと**だと思えます。

山本五十六の言葉に、「やってみせ 言って聞かせてさせてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」という言葉があります。「なぜ、この活動をするのか」という**活動のねらいや意図が活動をする主体(子ども)に十分理解できるように目標の共有を丁寧にしながら、子どもたちの自主性を育てていきたいと思えます。**子どもたちにとって、「やらされる自分」から「やる自分」になれるように。そして、学校と家庭が同じ目標を共有しながら、子どもたちが心身ともに健やかに育っていけるように連携したいと思えます。

3学期の始業式（の校長の話）で、「『掃除・あいさつ・靴揃え』をみんなで頑張りましょう」と子どもたちに話しました。子どもたちは、それぞれの学級活動の中で、3学期の目標や1年の目標を考えました。先生から、「子どもたちの目標の中に、『掃除をがんばります』という目標がたくさん入っていました。」とおしえてもらいました。平荘っ子の掃除を頑張る気持ちが一つになっている（同じ方向を向いている）ことが、とてもうれしいことです。**みんなの気持ちが同じ方向を見ている（目標を共有している）ことで、頑張っている子どもたちが、気持ちよく過ごすことができます。**

掃除開始2分前の放送委員会の放送を合図に、全校生が、自分の掃除場所へ速やかに移動する姿は、見えて本当に気持ちのいいものです。



「子どもたちが自分で考えて行動できるようにするにはどうすればいいだろう」と考えました。結果、3学期から、子どもたちの力（児童会活動）によって、掃除の時間（2分前から）に3曲の音楽を流しています。子どもたちからは、「もう掃除が終わってしまった。」とか「掃除の時間に音楽が流れて気持ちよかった。あっという間やった。」という声が聞こえてきました。一生懸命に掃除をしている子どもたちの姿は、本当に素晴らしいです。とても気持ちがいいです。